

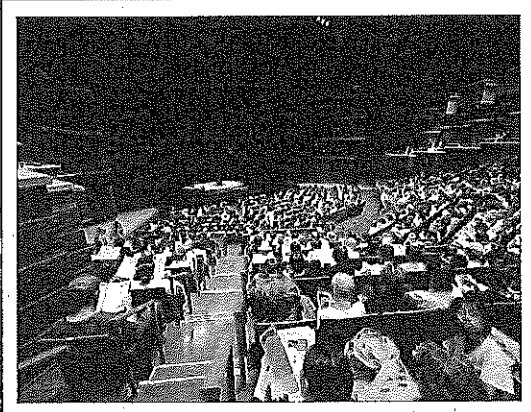
様式第12号 (第13条関係)

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業成果報告書

事業名	「あの夏の絵」小田原上演
団体名	エコリック
事業の内容	<p>「あの夏の絵」を青年劇場の力を借り、市民有志 35 人 (12/1 現在) で結成されたあの夏の絵小田原公演実行委員会と連携して令和 7 年 8 月 2 日に小田原三の丸ホールにて 686 人を定員として上演する。</p> <p>大人 400 人集客しないと赤字となるので、そこを上限として集客を図り、残りの席は子ども席としたい。多くの小田原っ子に気軽に見てもらいたいとの観点から小中学生は無料、高校・大学生までは 500 円での開催としたい。また学校教育関係者にも当該演劇を観劇してもらいたいと考えている。</p> <p>更に上演に向けたムーブメントを高めるべくワークショップと関連の講演会を企画する。</p> <p>6月頃 ○小田原イノベーションラボ、市民活動交流センターUMECO 定員 30 名ずつ 参加費無料 演出家福山啓子氏講演会</p> <p>7月頃 ○小田原イノベーションラボ 定員 30 名 (上限) 青年劇場若手俳優による演劇ワークショップ</p> <p>○高校生が描いた原爆の絵展展示 (市民活動交流センターUMECO ホワイエ)</p>
事業の成果	<p>6/22 小田原イノベーションラボ、市民活動交流センターUMECO にて演出家福山啓子氏講演会を午後と夜に実施。それぞれ 30 名の参加で開催した。</p> <p>7/2 18:00-19:30 小田原イノベーションラボにて青年劇場若手俳優による演劇ワークショップを開催。15 名の参加があった。</p> <p>7/19-8/1 まで高校生が描いた原爆の絵の展示を市民活動交流センターUMECO ホワイエにて開催。約 1,000 名の方が見学した。</p> <p>8/213:30-15:40 まで小田原三の丸ホールにて 705 名の参加のもと、あの夏の絵上演を行う。当初は 1 階席のみの使用であったが定員がオーバーし、急遽、2 階席をあけて開催の運びとなった。</p>

今後の事業展開

今後は年度末に向けて①森川聖詩「核なき未来」の講演会②第4の被爆講演会③原発と核、ソーラーシェアリングの問題をいれこんだ「陽なたのファーマーズ」の上演と樋口英明&近藤恵氏をお呼びした対談などを東日本大震災の問題と絡めて啓発するイベント等を行ってまいりたいと考えている。



様式第13号 (第13条関係)

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業収支決算書

1 収入の部

(単位：円)

科目	金額	内訳 (数量・単価など)・備考
チケット販売	900,000	3,000円×300人 (大人)
チケット販売	54,000	500円×108人 (大学・高校生)
協賛金	626,361	
補助金	300,000	
収入合計	1,880,361	

2 支出の部

(単位：円)

科目	金額	内訳 (数量・単価など)・備考
上演料	1,100,000	(消費税込)
車両運搬費	35,000	(トラック)
交通費	46,020	
宿泊費	134,400	劇団員宿泊費。一泊朝食 10,800円×11名 7,800円×2名
食費 昼	21,450	劇団員昼食代 1,650円×13名
夜	21,450	劇団員夜食代 1,650円×13名
宣伝広告費		
チラシ	50,860	約 1.96円×26,000枚
ポスター	6,380	31.9円×200枚
チケット	3,040	3.8円×800枚
リーフ	1,320	110円×12冊
当日冊子	7,260	約 10.4円×700枚
デザイン料	15,000	チラシ・ポスターデザイン料 (青年劇場)
ホール使用料	216,000	三の丸ホール大ホール、控室
付帯設備費	94,400	音響、照明
講演料	85,000	講師料 講師3名 (福山氏、津曲氏、藤代氏)
会議室代	3,760	6月講演会、7月ワークショップ
謝礼	39,021	司会者謝礼等
支出合計	1,880,361	

# あの夏の絵

福山啓子 作演出

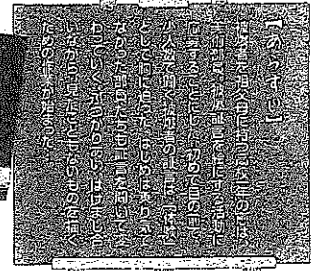
2015年の初演以来、各地で観客を感動の渦に巻き込み、全国公演中!

「原ばくを絵であらわすなんて、すごいと思いました。『平和』とはなんだろう、ということ考えられました。」(12才)  
「戦争をなかったことにするのはなく、ありのままを受け入れ、次につないでいく大切さを学べた。」(中学3年生)  
「世代を超えて記憶に伝える作品。今こそ、若者に伝えたい内容でした。」(70代)

被団協の機関紙で、初めて広島市立基町高校創造表現科の生徒による「原爆の絵」を見た時は、「被爆者の描いた絵?」と思いました。それほど迫力に落ちた絵でした。どうしてこのような絵が描けるのか、というのが取材を始めるきっかけでした。その後現地へ何度も何う中で知ったのは、半年をかけて被爆者から被爆前後の経験とその後の人生まで丹念に話を聞き、現場へ足を運び、資料を調べ、繰り返し被爆者と話し合い、時には涙しながら、悪夢を見ながら、「被爆者の手になって絵を描こう」と真摯に向き合う高校生たちの姿でした。彼らは「原爆の怖さ」でなく「原爆の記憶が消えていくことの怖さ」を心に刻みながら絵を描いていたのです。記憶を語り継ぐ一その輪の中に、皆様とともに加わられたら願っています。/福山啓子



(舞台写真) 撮影-V-WAVE

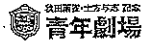


藤井美穂子 瓜戸聡 永田江里 藤代梓 優高ひとみ 津崎海斗



被爆から80年となるこの一年間、被爆の真相というのはどんなものか、目で見たり、耳で聞いたり、いろんなものをやっていけたらよいと思います。私は13歳で被爆し、激動の時代を生きてきました。被爆者はやがていなくなります。イベントを一回やって終わりというのではなく、ずっと続く運動にしていかなくてはなりません。そういう意味ではこの舞台はもってこい、素晴らしい舞台です。ぜひ、見てください。見ないと損です。大成功を祈ります。

日本原水爆被害者団体協議会 代表委員 田中照巳



〒160-0022東京都新宿区新宿2-9-20 電話 03(3352)4144  
TEL 03(3352)6922 FAX 03(3352)9418

info@seinengekijo.co.jp  
https://www.seinengekijo.co.jp

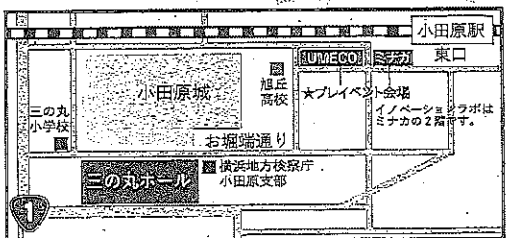
## 青年劇場「あの夏の絵」小田原上演

小田原市市民活動応援補助金交付事業 / 神奈川文化プログラム認証事業

後援：神奈川県、小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、神奈川県教育委員会、小田原市教育委員会、南足柄市教育委員会、中井町教育委員会、大井町教育委員会、松田町教育委員会、山北町教育委員会、開成町教育委員会、箱根町教育委員会、真鶴町教育委員会、湯河原町教育委員会

協賛：神奈川土建西相支部、  
湘南生活クラブ生協城下町 commons、  
合同会社小田原がなごてファーム、  
ボランティアグループ・ウェイダース、  
鴨宮歯科医院

主催：「あの夏の絵」小田原上演実行委員会  
お問い合わせ：090-7209-0100 (大久保)  
※小・中学生の無料チケットのご希望もこちらへご連絡ください。



被爆から80年  
日本被団協ノーベル平和賞受賞記念公演

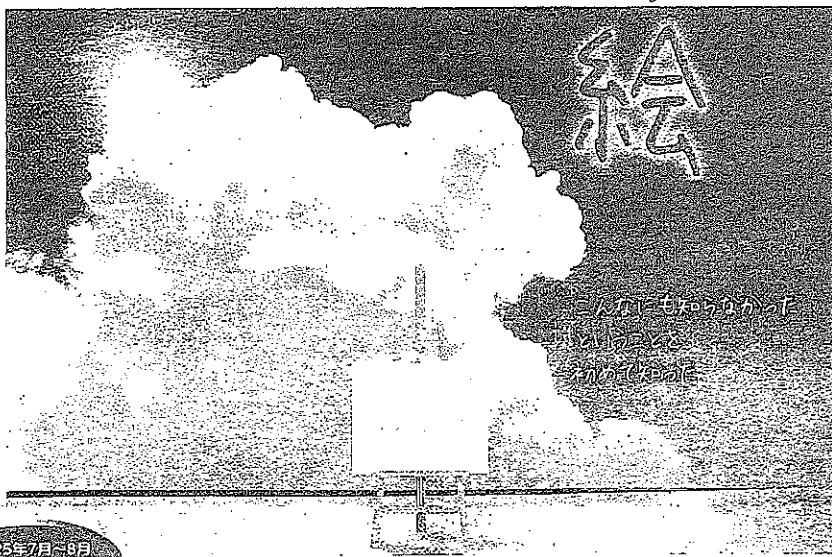
# あの夏の絵

福山啓子 作演出

「ロジックを忘れない」  
記憶を伝え残すために語り始めた被爆者や、それを後継ぎついでに語り継ぐ者たちの心と口を伝えた高校生たちのメモリーの中の物語。



神奈川文化プログラム認証事業 / 小田原市市民活動応援補助金交付事業



# あの夏の絵

「ロジックを忘れない」

「ロジックを忘れない」

2025年7月-8月  
首都圏公演

# 2025年8月2日(土)

## 13:30開演 (13:00開場・15:50終了予定、上演時間約2時間) 小田原三の丸ホール・大ホール

小田原市本町1丁目7-50 (小田原駅より徒歩約13分)  
※駐車場はありません。周辺のコインパーキングをご利用ください。

主催：「あの夏の絵」小田原上演実行委員会  
お問い合わせ：090-7209-0100 (大久保)  
※小・中学生の無料チケットのご希望もこちらへ

前売り券 一般3,000円 / 大学・高校生500円 / 小・中学生無料  
当日券 一般3,500円 / 大学・高校生500円 / 小・中学生無料  
(全席自由・税込) ※未就学児の入場は無料です。

<プレイガイド> (一般・大学・高校生のみ取り扱い)  
小田原三の丸ホール窓口、三の丸ホールWEBチケット <https://p-ticket.jp/odawera>、  
南足柄市文化会館、ハルネ小田原 街かど案内所 (窓口販売のみ)、平井書店、  
ミクニ書店、鴨宮歯科医院、農家カフェSiesta

広島の高校生が被爆者の体験を元に描いた「原爆の絵」展  
7月19日(土)～8月1日(金) おだわら市民交流センター・UMECO・ホワイエ  
演出家・福山啓子さんとのトークセッション  
6月22日(日) ①14:00～18:00  
おだわらインバージョンラボ(みなか2階) 定員30名  
②18:30～20:30  
おだわら市民交流センター・UMECO・会議室5、6 定員48名

戦後・被爆80年 日本被団協ノーベル平和賞受賞記念

# あの夏の絵

小田原上演

2025年8月2日(土) 小田原三の丸ホール・大ホール

福山啓子一作・演出

美術=石井隆司 照明=河崎清 演出=堀沢広幸 音響効果=石井隆 衣裳=宮岡増枝  
宣伝美術=堀田絵里 方言指導=藤田祐子 演出助手=清原遥之 舞台監督=松橋秀幸 製作=広瀬公乃



上演中は携帯メール、スマートフォン、スマートウォッチ等、音や光の届かない場所や電源から離れた場所で。

「あの夏の絵」小田原上演実行委員会事務局  
エコリック/小田原かなごてファーム代表 小山田大和

「あの夏の絵」は、被爆者として現代の高校生が共同してその惨状を綴じた書籍を舞台、その中自身も幸として高校生が成長していく姿を描いています。映画では生身の俳優が演じる事により、そのリアルなイメージが伝わって来ます。

この劇を通して、あらためて原爆被害者を追悼する心が再び芽生える事を願っています。

本団体の来場の際は、ぜひこの冊子を見てください。

「あの夏の絵」小田原上演実行委員会委員 大久保徹夫

本団体の戦後・被爆から八十年です。また日本被団協がノーベル平和賞を受賞して初めての八月を迎えています。改めて、恒久平和、核なき未来への思いを、次世代を担う若者たちに継承させたい。との強い思いで、「あの夏の絵」を上演します。

本団体の開催行われたりして、多くの関係者の方の支援にひたかたならぬお世話をしました。ここからこの御礼を申し上げます。最後は楽しんでいただけたら幸いです。



なごり



- 神奈川土建西相支部 / 小田原ガス株式会社  
フロンティア1株式会社 / 株式会社神奈川機関紙印刷所  
井上酒造株式会社 / (一社) フォーギブネスフロムヒロシマ  
合同会社小田原かなごてファーム / キッチンかぶら / わはな座  
湘南生活クラブ生協城下町 commons / 鴨宮歯科医院  
ポラシティアグループ・ウェイダース / さよなら原発小田原  
Green People's Power / ラテンアメリカキリスト教ネット  
樋口英明 (元福井地裁裁判長)  
近藤恵 (二本松堂農ソーラー株式会社代表)  
小原浩靖 (映画監督)  
依田真美 / 沖田忠子 / 和食雅子

この他、匿名希望の方からの協賛・カンパも多数頂きました。実行委員一同、心より感謝申し上げます。

ありがとうございました！

この劇が生まれるきっかけとなった、広島市立基町高等学校の生徒と被爆者との共同制作による「原爆の絵」については、「広島平和記念資料館」のサイトに詳細をご覧ください。作品リストには、画像と丁寧な解説が一点一点記録されています。二度と悲劇を繰り返さないために、ご家族やご友人と共有してご覧になってみてください。

「原爆の絵 基町高校」で検索！

神奈川文化プログラム認定事業/小田原市市民活動応援補助金交付事業/小田原市戦後80年事業認定

後援：神奈川県、小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、磯城町、箱根町、真鶴町、湯河原町、神奈川原教育委員会、小田原市教育委員会、南足柄市教育委員会、中井町教育委員会、大井町教育委員会、松田町教育委員会、山北町教育委員会、磯城町教育委員会、箱根町教育委員会、真鶴町教育委員会、湯河原町教育委員会、株式会社タウンニュース社小田原支社

主催：「あの夏の絵」小田原上演実行委員会/エコリック

